

■ポーランド：米国産 LNG 輸入、ロシア依存を軽減へ

2017年5月29日付の報道によると、ポーランドの石油・ガスインフラ担当大臣の Naimski 氏は、米国からの LNG 輸入によって、欧州におけるロシアのガスプロムの独占的な地位が揺らぐ可能性があると言明した。現在、ポーランドでは天然ガスの約4割をガスプロムから輸入している。ロシアへのエネルギー依存度を減らすため、ポーランドでは2015年に LNG 基地が運開し、カタールガスとの長期契約が締結され、2017年6月からは米国からの LNG スポット購入が決まっている。同氏は LNG 生産量の増加と輸送技術の進歩によって、今後ロシアから欧州への天然ガス供給は大幅に減少する可能性があるとしている。